

交付運用報告書

トルコ株式オープン 〈愛称〉 メルハバ

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2016年1月26日～2017年1月25日）

第11期（決算日 2017年1月25日）

受益者のみなさまへ

第11期末（2017年1月25日）	
基準価額	6,667円
純資産総額	4,291百万円
騰落率※	△8.2%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「トルコ株式オープン」は、このたび第11期の決算を行いました。

当ファンドは、トルコ株式を実質的な主要投資対象として、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

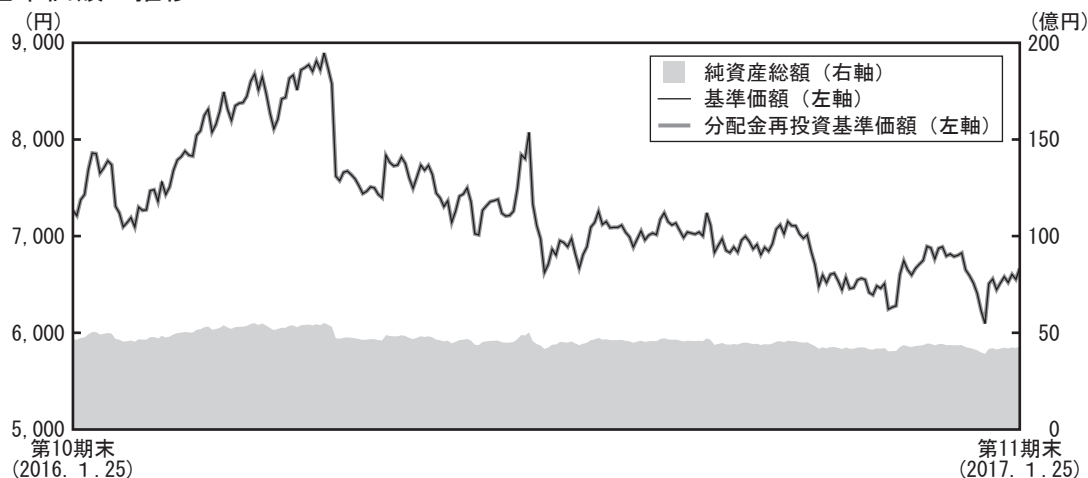
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

■ 基準価額の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年1月25日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（トルコ株式オープン）

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。

（トルコ株式マザーファンド）

トルコ株式市場は上昇しましたが、トルコリラが対円で大きく下落したため、期中の騰落率は－6.7%となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

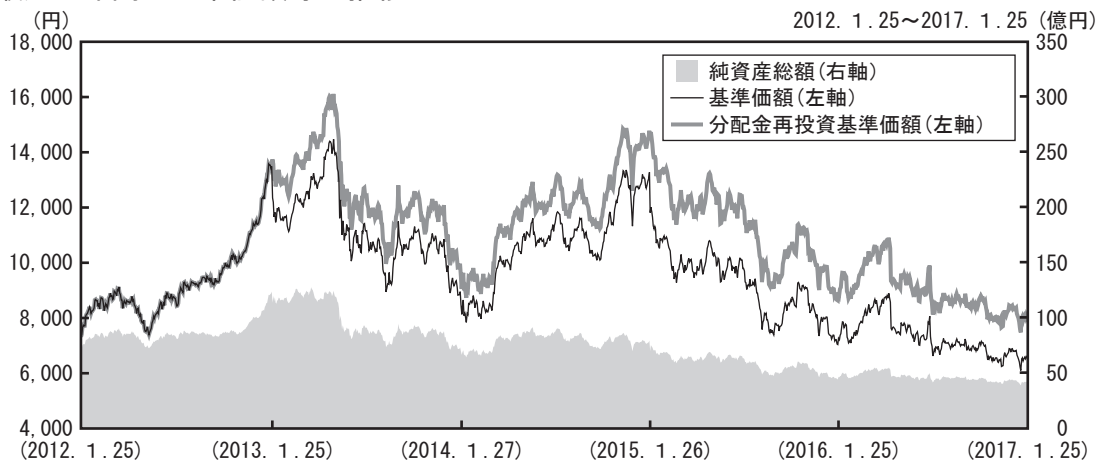
項目	第11期		項目の概要
	(2016年1月26日～2017年1月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	142円	1.944%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,289円です。
(投信会社)	(79)	(1.080)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(55)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.033	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.033)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	24	0.325	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(23)	(0.319)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	168	2.302	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年1月25日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

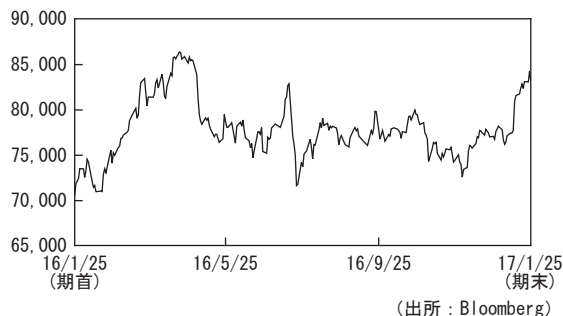
決算日		2012年1月25日 決算日	2013年1月25日 決算日	2014年1月27日 決算日	2015年1月26日 決算日	2016年1月25日 決算日	2017年1月25日 決算日
基準価額	(円)	7,319	12,346	8,132	11,812	7,266	6,667
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	1,400	0	1,200	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	87.8	△ 34.1	60.0	△ 38.5	△ 8.2
純資産総額	(百万円)	7,208	11,374	6,664	7,004	4,674	4,291

■投資環境

期初から4月までは、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和政策を発表したことや、トルコ中央銀行の新総裁にチェティンカヤ副総裁が任命され、内部昇格による金融政策の継続性が期待されたことなどを背景に上昇しました。しかし、5月初めにダウトオール首相が地方幹部の任命権限剥奪を受けて任期途中で首相職の辞任を表明したことを受け、大きく下落しました。7月上旬に世界的な株高の流れの中、いったん反発しましたが、15日夜から16日にかけて、未遂に終わったものの軍の一部によるクーデターが発生し、再び大きく下落しました。その後は比較的堅調な推移となったものの、11月初めにトルコ警察当局がクルド系国民民主主義党（HDP）の共同党首2人を含む同党の複数の国会議員を拘束したことに加えて、拘束直後に、トルコ南東部で大規模な自爆テロが発生したことなどから、トルコ株式市場は急落しました。12月に入ると、米大統領選挙後の欧米株式市場の好調な推移に追随する形で、上昇に転じました。年明けには、トルコ中央銀行が1週間物のレポ入札を見送ったことを受け、トルコリラ安抑制のための利上げ期待が強まり、期末にかけてさらに値を上げました。

トルコリラは、ダウトオール首相の任期途中での首相職の辞任や、クーデター発生、警察当局による議員拘束などを受けて、対円で下落しました。対米ドルでも過去最安値を更新しました。

イスタンブール・ナショナル100種指数の推移



為替レートの推移



■当該投資信託のポートフォリオ

期を通してトルコ株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、97.0%です。

（トルコ株式マザーファンド）

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、99.4%です。

・主な購入銘柄

ビール醸造会社のTurk Tuborg Bira ve Malt Sanay ii A.S. や、空港管理会社のTAV Havalimanlari Holding AS等を新規に購入しました。

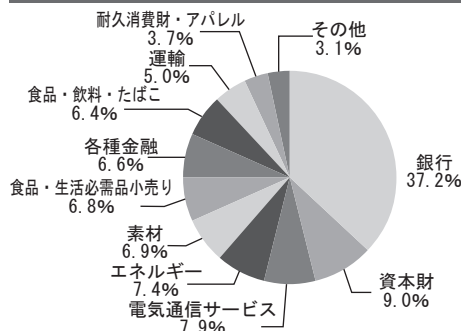
・主な売却銘柄

石油化学品メーカーのPetkim Petrokimya Holding A.S. や電子製品小売業者のTeknosa Ic Ve Dis Ticaret AS等を全売却しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

トルコ株式マザーファンドの業種別構成比率



(注1) 比率は、第11期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■分配金

当期は基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第11期
	2016年1月26日～2017年1月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,945

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(トルコ株式オープン)

今後もマザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。

(トルコ株式マザーファンド)

トルコでは、憲法改正・大統領への権限委譲を巡り議論が続けられており、春までに国民投票にかけられる可能性が高くなりました。

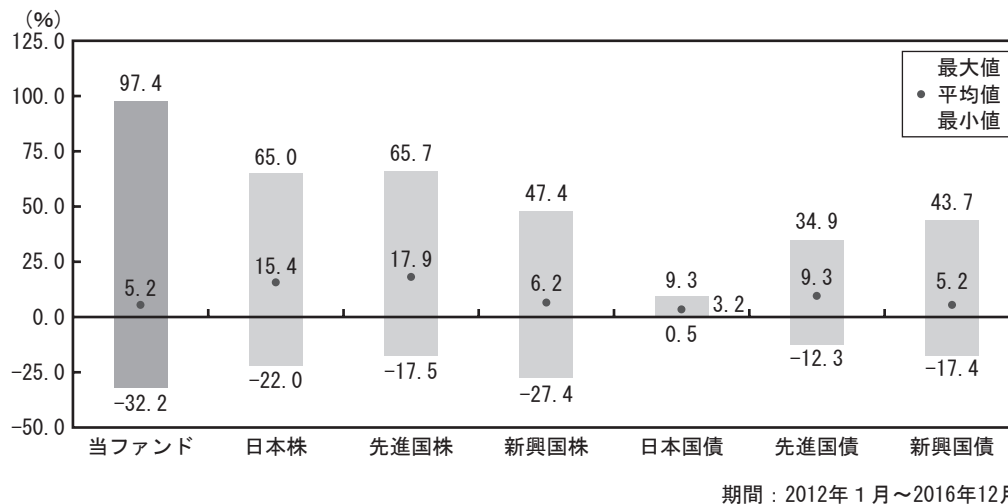
一方、対外的には、近隣のシリア、イラクの情勢不安や、過激派組織「イスラム国」によるテロなど、難しい地政学リスクに直面しています。

中期的な視点においては、トルコ経済の高い成長モメンタムへの期待から、トルコ株式市場は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年5月31日から2021年1月25日まで	
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	トルコ株式オープン	トルコ株式マザーファンド受益証券
	トルコ株式マザーファンド	トルコ株式（DR（預託証券）を含みます。）
運用方法	<p>①トルコ株式を実質的な主要投資対象とします。</p> <p>②収益性、成長性、安定性などを総合的に勘案して、トルコ株式を選別します。</p> <p>※マザーファンドのトルコ株式の運用の指図に関する権限をユニオンバンクケール プリヴェ ユービーピー エスエー（ロンドン支店）に委託します。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

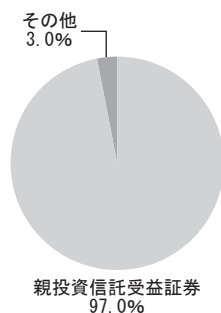
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

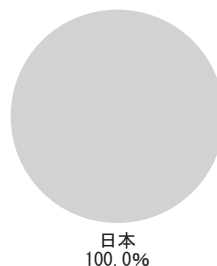
	第11期末
	2017年1月25日
トルコ株式マザーファンド	97.0%

（注）比率は第11期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第11期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第11期末
	2017年1月25日
純資産総額	4,291,528,403円
受益権総口数	6,437,448,525口
1万口当たり基準価額	6,667円

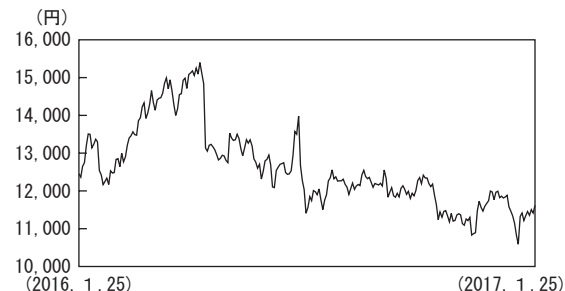
※当期中における追加設定元本額は1,126,322,305円、同解約元本額は1,122,041,442円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<トルコ株式マザーファンド>

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

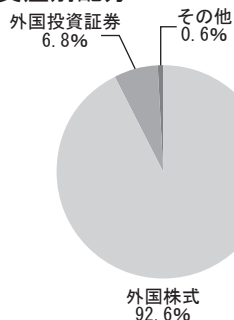
	銘柄名	業種	比率
1	AKBANK T. A. S.	銀行	9.4%
2	TURKIYE GARANTI BANKASI	銀行	9.4%
3	TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	エネルギー	6.9%
4	HACI OMER SABANCI HOLDING	各種金融	6.1%
5	TURKCELL ILETISIM HIZMET AS	電気通信サービス	5.0%
6	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	住宅用REIT	4.8%
7	KOC HOLDING AS	資本財	4.6%
8	TURKIYE IS BANKASI-C	銀行	4.4%
9	TURKIYE HALK BANKASI	銀行	3.6%
10	EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	素材	3.6%
組入銘柄数		34銘柄	

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月26日～2017年1月25日)

項目	
売買委託手数料	4円
(株式)	(4)
(投資証券)	(0)
その他費用	41
(保管費用)	(41)
(その他)	(0)
合計	46

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2017年1月25日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI に関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan Global EM Diversified（円ベース）

J.P. Morgan Global EM Diversifiedは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。